平成２９年度　学校図書館全体計画　　隠岐の島町立西郷小学校

関係法規等

・教育基本法
・学校教育法
・学校教育法
・学習指導要領
・県及び町の教育政策

学校教育目標

西郷小学校の児童は、人を大切にします！

めざす子ども像

やさしく(思いやりのある子)・かしこく(進んで学ぶ子)・たくましく(明るく元気な子)

児童の実態

・明るく元気で、素直な児童が多い。
・行事や縦割り班活動に積極的に参加する児童が多い。
・主体的に読書に取り組む児童が多いが、苦手意識を持っている児童も若干いる。

学校教育目標の具現化

○　やさしく(思いやりのある子)　　教育活動全体を通して読書活動を推進し、自尊感情を高める。
○　かしこく(進んで学ぶ子)　　図書館利用の活動を通して、自ら学ぶ意欲を育て、生涯学習の基礎を培う。
○　たくましく(明るく元気な子)　　自ら様々な資料にあたり、ねばり強く課題解決しようとする態度を育てる。

図書館教育の目標

○　図書館に親しみ、読書の楽しみや新しい発見を支援することで豊かな人間性を育てる
○　図書館の様々な資料にふれ、図書館の機能を理解し、利用できるようにする
○　図書館に親しみ自ら進んで調べたり、多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決したりできるような情報活用能力を育成する

図書館運営の方針

○　教育課程に位置づけた学校図書館の利用を計画的に実施する
○　学習センターとして、豊かで確かな学びを支えることができるような図書館運営に努めるとともに学校図書館を活用した授業の推進を図る
○　読書センターとして、子ども達が進んで読書に親しみ、豊かな心が育つよう、魅力ある学校図書館をめざした読書指導・環境整備に努める
○　資料センターとして、授業に必要な資料を提供することにより教育活動を支援していく

低学年	中学年	高学年	特別支援学級
・学校図書館に親しみ、利用の仕方の基本的な知識・技能・態度を培い、喜んで資料を活用することができる	・進んで学校図書館を利用する態度を高め、楽しく資料や情報を集め、活用することができる	・積極的に学校図書館を利用する態度を養い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用することができる	・学校図書館にはさまざまな本があることを知り、自分の興味関心のある本を選ぶことができる
・やさしい読み物に興味を持ち、楽しんで読書をすることができる	・いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書をすることができる	・適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり、深めたりすることができる	・読み聞かせなどを通して、本に親しみ、進んで読書をすることができる

各教科

・　各教科の目標を達成する中で、学習センターとしての学校図書館の意義を踏まえ、図書主任を中心に、学校図書館推進部会を開き、学校図書館司書、担任と連携を取りながら、積極的・計画的に図書館学習を取入れる。

特別活動

・　学級活動を通し、学校図書館の利用や情報の適切な活用の仕方を身につける。
・　児童会活動（委員会）において、学校図書館にかかわる自分たちの仕事を協力し合い、自主的に実践する態度を育てる。
・　学校行事（読書週間・読書月間）等に積極的に参加し、目的に応じた読書方法や主体的・創造的な態度を身につける。

総合的な学習の時間

・　課題設定、追求、まとめなどの学習場面で、適切な資料を活用することができるようにする。
・　学習したことを生かし、多様な資料や方法で課題解決を図ることで、情報活用能力をさらに伸ばす。

道徳

・　様々な資料を通して、自分の考えと違う考え方を尊重したり、自主的に判断したりする力を育てる。
・　様々な資料を使って、道徳的心情を豊かにし、楽しい学校生活が過ごせるようにする。

読書活動

・　「朝読書」や「読み聞かせ」、「家読」を通して読書の習慣化を図り、楽しく読ませる。
・　読書週間等の行事へ積極的に参加させ、読書の意欲化を図る。
・　読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリングなどさまざまな方法で読書の世界にいざなう。

家庭・地域との連携

・　保護者向けの図書館便りを通して、図書館教育に対して理解と協力を得る。
・　学校図書館司書、読み聞かせボランティアと連携し、子ども達の読書環境の充実を図る。
・　公共図書館との連携を密にし、資料の充実を図る。

学級経営

学校図書館の環境充実・整備

↓

生涯学習の基礎を培う